

新徳京ロープウェイ

安全報告書 2012



奥飛観光開発株式会社

1. 利用者の皆様へ

平素は新穂高ロープウェイをご利用いただき誠にありがとうございます。

新穂高ロープウェイは平成23年11月には開業以来、1500万人のお客様にご利用いただきました。これも偏に皆様方のご愛顧、ご支援の賜物と心からお礼申し上げます。

当社では、今後とも安心して北アルプスの大自然をご満喫いただけるよう、更なる輸送の安全性の向上にむけてハード面とソフト面の両面から、組織一体となって取り組んでまいり所存です。何卒、変わらぬご支援を賜りますようお願い申し上げます。

本報告書は、鉄道事業法の規定に基づき、平成23年度の安全輸送に対する取り組みの経過をまとめ、広く皆様にご理解いただくために公表するものです。

ご意見ご感想を賜れば幸いです。

奥飛観光開発株式会社

代表取締役社長 佐々嘉則

2. 安全に関する基本的な方針

(1) 行動規範

社長、役員及び社員は、次に掲げる安全に係る行動規範を理解し、輸送の安全確保を最優先に、お客様と地域から愛される「信頼のトップブランド」を目指します。

【行動規範】

- (1) 一致協力して輸送の安全の確保に努めること。
- (2) 輸送の安全に関する法令及び関連する規程等をよく理解するとともにこれを遵守し、厳正、忠実に職務を遂行すること。
- (3) 常に輸送の安全に関する状況を理解するよう努めること。
- (4) 職務の実施に当たり、推測に頼らず確認の励行に努め、疑義のあるときは最も安全と思われる取り扱いをすること。
- (5) 事故・災害等が発生したときは、人命救助を最優先に行動し、すみやかに安全適切な処置をとること。
- (6) 情報は漏れなく迅速、正確に伝え、透明性を確保すること。
- (7) 常に問題意識を持ち、必要な変革に果敢に挑戦すること。

(2) 安全方針と重点施策

当社では、安全管理委員会において、安全方針・安全重点施策を策定し、輸送の安全確保に取り組んでおります。

【安全方針】

法令順守と安全最優先
安全マネジメント体制の推進

【安全重点施策】 平成23年度の安全重点施策は、以下の3項目です。

平成23年度安全重点施策

- 1 施設故障・ヒューマンエラーの削減
- 2 安全基本動作及び相互注意の徹底
- 3 ヒヤリハット情報収集の環境整備

(3) 安全重点施策の実施結果

1 施設故障・ヒューマンエラーの削減

当社独自に基準を設け、細かな情報収集・分析を行ない対策を講じました。又、ヒヤリハット情報及び、その対策の進捗・意義を係員に示すなどして、安全意識の向上に努めました。その結果、施設故障、ヒューマンエラー共減少しました。引き続き未然に事故防止に努め、安全運行を推進します。

2 安全基本動作及び相互注意の徹底

指差喚呼等安全基本動作及び搬器発着時の監視を徹底させるため、各担当係員が相互に動作確認をするようにしました。

講習時に、単なる動作で終わらないよう、動作の意味を理解するよう教育しました。

安全に対する心構えが根付くよう講習、教育をおこない、係員が相互に確認・注意しながらスキルアップするよう努めます。

3 ヒヤリハット情報収集の環境整備

強化期間の設定や、ヒヤリハットの解釈範囲を拡げ、より多くの情報を収集できるようにしました。併せてヒューマンエラーをおこしそうな行動、故障に繋がりがねない箇所について意識調査を実施し、「事故の芽」になりうる事案の収集を行ないました。

今後もこれら情報の収集・共有化を推し進め、ヒヤリハットを基とした、さらなる安全活動に取り組んでまいります。

(4) 平成 24 年度安全重点施策の策定

平成 23 年度安全重点施策の実施結果を踏まえ、さらなる安全確保体制向上を目指し、平成 24 年度安全重点施策を策定いたしました。

平成 24 年度も、事故の未然防止を機軸とした施策を最重要課題と考え、事故の芽の段階で対策・予防策を講じ、事故防止につなげるよう取り組んでまいります。

又、係員の資質、対応能力の向上を目指し、教育・訓練を充実してまいります。

平成 24 年度安全重点施策

1 事故・障害件数の削減

- ・ 数値目標 事故 0 件 前年度比 50%削減
- ・ ヒヤリハット情報収集・分析・対策を図り事故を未然に防ぐ。
- ・ 運行、整備係員相互の情報交換・共有を図り、兆候段階で事故・障害を未然に防ぐ。
- ・ 内部監査実施による是正事項を掘り下げ改善し、安全性の向上を図る。

2 安全基本動作及び相互注意の徹底

- ・ 安全最優先の意識の定着、相互に注意しあうことによる、全員参加の安全文化の構築を図る。
- ・ 担当係員に当該担当箇所弱点箇所図を作成させ、常に安全意識を持ってもらう。
- ・ 法律、基準、規則の基礎的な知識の習得を図る。

3 業務内教育（OJT）の実施・推進

- ・ 教育リーダーを選任し、業務を通じ安全教育を推し進め、安全知識・行動の底上げを図る。
- ・ 係員主体参加の事故・障害事例勉強会、危険予知活動の実施。
- ・ 管理職による安全巡視・指導を実施・強化し、係員の理解度、浸透度を把握し教育計画に反映させる。

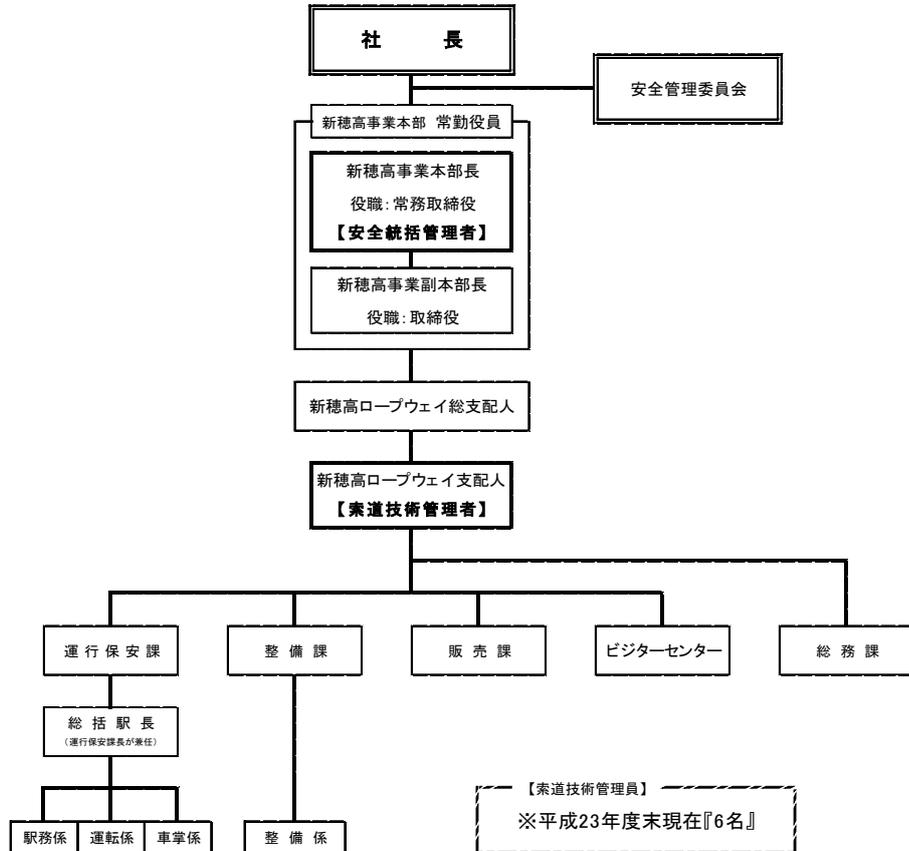
3. 当社の安全管理体制

(1) 安全管理体制の確立

社長をトップとする安全管理体制を構築し、各責任者の役割及び権限は、社内規程によりその責務を明確にしています。

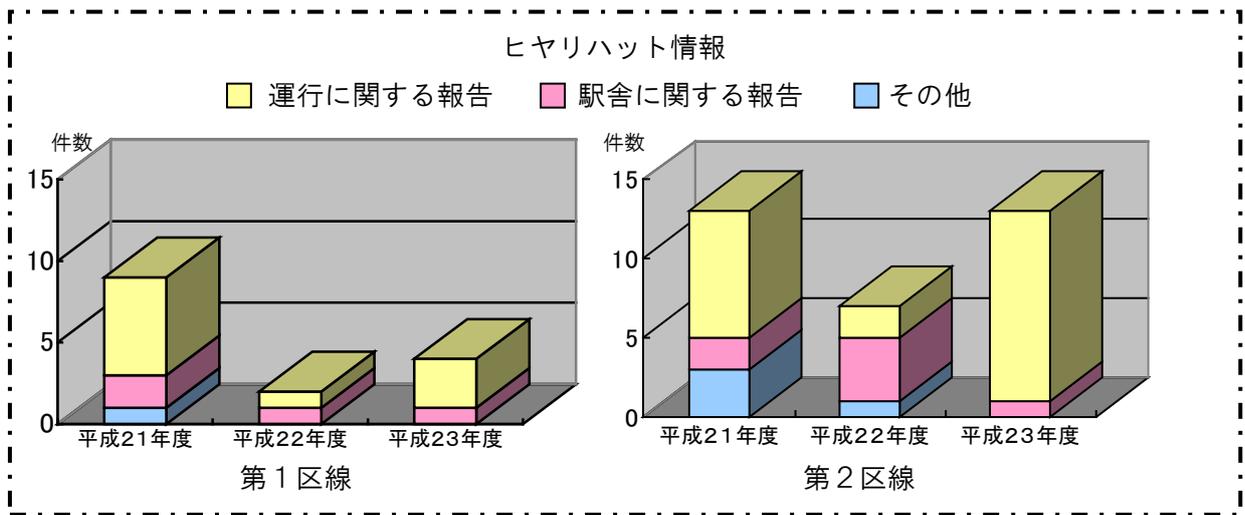
安全管理委員会において、より一層の運行安全確保に努めるため、安全マネジメント体制の維持・向上を図る施策を推進しておりますとともに、安全運行に係る事項の情報共有、原因究明・対策を検討、実施しております。

安全管理体制図



(2) ヒヤリハット報告

当社では、各部署からのヒヤリハット情報を集約し、安全のための対策を策定しております。



今後も情報収集のための環境整備を整え、情報の共有化を進めてまいります。
 得られた情報は、原因対策の策定、未然の事故防止に繋げていくとともに、自主的な安全活動の活性化を図りながら、さらなる安全活動に取り組んでまいります。

(3) ヒヤリハット報告による改善事例

【ヒヤリハット報告】

第2区線駅ホームで、ホームとゴンドラ間の
の棧橋部分に隙間があり、落下する危険性
がある。

【改善】

隙間に補助枠を取り付けました。

(改善箇所 しらかば平駅及び西穂高口駅各1・2階)



取付前

取付後

4. 平成23年度 事故等の発生状況

(1) 索道運転事故（索道人身障害事故）

平成23年度、当該事故の発生はありませんでした。

(2) 災害（地震や暴風雨、豪雪など）

平成23年度、該当する災害はありませんでした。

※天候不良による運行休止は、第1区線では「約14時間」、第2区線では「約96時間」でした。

(3) インシデント（事故の兆候）

平成23年度、該当するインシデント事項はありませんでした。

(4) その他の障害事故等

平成23年度に発生した事故について、発生状況、原因とその対策についてお知らせします。

1、運行中の停電による急制動（非常停止）（第2区線）

【発生日時】平成23年10月27日（木）午前11時21分頃

【概要】停電により急制動がかかり停止、ゴンドラが大きく揺れました。

【原因】停電時のバックアッププログラムの不備により急制動がかかりました。

【対策】通常の非常制動と同等の制動力となるようプログラムを改善しました。

2、ゴンドラ乗降口棧橋上での乗客転倒（西穂高口駅）

【発生日時】平成23年10月27日（木）午後15時15分頃

【概要】ホームゴンドラ乗降口にて、お客様が乗車の際、棧橋部に敷設していたマットに躓き転倒し、怪我をされました。

【原因】マットが波打ち浮いていました。

【対策】マット固定部品を変更しました。

係員の監視位置を修正するとともに、注意喚起の徹底を図りました。

5. 安全確保のための取組み

(1) 人材教育・育成

年2回、安全教育月間を設定し、期間内で安全教育を実施し、人材の育成に努めました。
12月には経営層による講話、安全に関する講習をおこない、安全意識の高揚を図りました。



経営層による安全講話



安全に関する講習

(2) 緊急時対応訓練

7月と12月に駅舎内における火災等の緊急事態を想定し「非常時避難誘導訓練」を実施しました。



非常時避難誘導訓練



消火器取扱訓練

ロープウェイ運行中における非常事態を想定し、年3回の救助訓練を実施しました。
合わせて非常時通報連絡訓練を実施しました。





応急下降器による救助訓練

(3) 安全のための投資と支出

平成23年度は、鍋平高原周辺等の照明設備に約2.3百万円を投資しました。
又、索道の機械・電気設備の保守に関する整備・点検・工事に約15百万円を支出しました。
今後も安全・保安対策を計画的に実施し、さらなる安全性の向上を推進します。

6. ご連絡先

【本社】

〒506-0053
岐阜県高山市昭和町1丁目165-1

奥飛観光開発株式会社

TEL : 0577-33-0517
FAX : 0577-34-7101
ホームページ : <http://www.okuhi.jp/>

【事業所】

〒506-1421
岐阜県高山市奥飛驒温泉郷
神坂字巾平710番地79

新穂高ロープウェイ

TEL : 0578-89-2252
FAX : 0578-89-2815

※ メールによるお問い合わせは、ホームページ内の「ご意見・ご感想・ご質問」よりお寄せ下さい。

平成24年(2012年)9月発行